

一般質問通告一覧表

令和5年6月15日(木)

	氏名	通告時間	件名(要旨)	答弁者	予定時刻
1	中平裕二	30分	<p>市政運営の総括と今後について 江原市長は「市民のいのちと生活を守る」を基本理念として、市民の声を市政に反映し、これまで様々な施策に取り組まれてきたが、その成果について伺う。あわせて次期市長選挙に向け出馬される意欲があるのか伺う。</p>	市長	9:30
2	西村良一	30分	<p>若者の流出と定住問題について 本市ではこれまでも数々の定住環境づくりの取り組みを行ってきたが、若い世代の市外への流出が続いている。若者の流出と定住に係る次の2点について市の考えを問う。 (1) 高校や大学を卒業後、若者が地元で就職し、住み続けることができる環境づくりが必要と考えるが、本市のこれまでと今後の取り組みについて問う。 (2) 企業誘致に取り組まれているが、若者の雇用と定住の成果と今後の取り組みを問う。</p>	市長 部課長	10:10
			<p>長門市立図書館の利便性向上について 長門市立図書館は、本の貸し出しや読書の場所を提供することで親しまれてきた。一人でも多くの市民に利用してもらうため、更なる利便性向上に努める必要があると考えるが、市の考えを問う。 (1) 利用時間の拡大について (2) 休館日の見直しについて (3) 利用しやすい駐車場の整備について</p>	教育長 部課長	
3	綾城美佳	70分	<p>障害者福祉施策の充実について 第Ⅲ期障害者プランは、2017年度から2023年度の7年間を計画期間としており、今年度が見直しの年となっている。そこで福祉のまちづくりの推進と情報提供・意思疎通支援の充実について、これまでの取り組みに対する評価と課題を尋ねる。あわせて、課題をどのように今後の計画に反映されるのかを尋ねる。</p>	市長 部課長	10:50
			<p>観光施策の推進について 第3次長門市観光基本計画には、「満足度の高い充実した“ながと時間”の創出」のため質の高い施設、人、食・グルメ、おもてなしによる質の高い癒し、体験・経験、非日常が求められていると記載がある。 現在、三ノ瀬地区には、萩藩の御用窯として誕生した萩焼深川窯がある。現在も5つの窯元が日々の研鑽に励んでおられ、長門湯本温泉や本市にとっても重要な文化発信の場所であるとともに観光資源ととらえている。そこで、観光振興としての萩焼深川窯との連携について尋ねる。あわせて、観光客誘致について市長の思いを尋ねる。</p>	市長 部課長	

一般質問通告一覧表

令和5年6月15日(木)

	氏名	通告時間	件名(要旨)	答弁者	予定時刻
4	米弥又由	40分	<p>本市の障害福祉政策について 第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画策定の趣旨に、市町村等の責務として「障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援事業の提供体制の確保に努めなくてはならない」とある。そこで3つの項目について尋ねる。 (1) 障害福祉計画及び障害児福祉計画における現状の取組と評価について (2) 移動支援について (3) 選挙での投票行動支援について</p>	市長 部課長 選挙管理 委員会 委員長	13:00
5	吉津弘之	50分	<p>中学校の部活動について スポーツ庁と文化庁は、2022年12月に策定した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」において、2023年度から2025年度の3年間を「改革推進期間」と位置づけ、部活動改革を進めていくとしているが、本市の中学校部活動の地域移行の状況は現在どのようになっているのか尋ねる。</p>	市長 教育長 部課長	13:50
6	ひさなが信也	40分	<p>市が管理する社会教育関係施設の利便性向上について 市内には各地域に社会教育施設やスポーツ施設がある。地域の屋内スポーツ施設は既存の利用者のみではなく、これまで利用する機会がなかった人まで幅広く、より柔軟に利用できることが望ましいと考えるが市の見解を尋ねる。</p>	市長 教育長 部課長	14:50

一般質問通告一覧表

令和5年6月16日(金)

	氏名	通告時間	件名(要旨)	答弁者	予定時刻
7	田村大治郎	60分	指定緊急避難場所及び指定避難所の整備と運用について 国土交通省の気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会は、今後、気候変動の影響により水害が頻発することを懸念している。災害発生時には行政による避難誘導、避難所の設置運営が行われるが、指定緊急避難場所及び指定避難所に多様な避難者を受け入れるための施設整備と運用について尋ねる。	市長 部課長	9:30
			学校管理下におけるいじめの把握と対応について 文部科学省は「いじめを含め、児童生徒の様々な問題行動等への対応については、早期発見・早期対応を旨とした対応の充実を図る必要がある、関係機関との連携を図りつつ、問題を抱える児童生徒一人一人に応じた指導・支援を、積極的に進めていく必要がある」としている。近年はネットいじめ等の把握が困難な事案が増加していることから、本市のいじめに対する危機対応の現状と今後の取組について尋ねる。	市長 教育長 部課長	
8	林 哲也	70分	文化施設のあり方について 文化・芸術は、心豊かな暮らしに欠かすことができないものである。文化芸術基本法の第4条は「地方公共団体は、基本理念にのっとり、文化芸術の振興に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と掲げている。第2次長門市総合計画後期基本計画には、文化施設について「企画展や公開行事を開催し、観光分野と連携し情報発信することにより利用者の増加を図る」とあるが、文化施設のあり方に対する基本的な認識を問う。	市長 教育長 部課長	10:40
			長門市沖浮体式洋上風力発電プロジェクトについて 令和3年11月29日、長門市議会に対して、山口大学発のベンチャー企業として設立された株式会社MOT総合研究所から「長門市沖浮体式洋上風力発電プロジェクト」に関する説明が行われた。この洋上風力発電プロジェクトは、政府目標である「2050年カーボンニュートラルの実現」に寄与すると共に、「地域課題を解決した強靱で活力ある持続可能な地域社会を実現」し、再エネ先進都市を目指すとしている。現在までの取り組み状況及び洋上風力発電プロジェクトの実現の可能性について問う。	市長 部課長	

一般質問通告一覧表

令和5年6月16日(金)

	氏名	通告時間		答弁者	予定時刻
9	田中千秋	40分	<p>シティセールスについて 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行した。これに伴い全国各地で人の移動が活発化し、日本も「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」に転換しつつある。本市の交流人口、関係人口を増やすにはシティセールスが肝心になってくるが、本市の取り組み状況を尋ねる。</p>	市長 部課長	13:00
10	岩藤睦子	40分	<p>観光客誘致策について 本市の基幹産業である観光産業は、猛威を振るった新型コロナウイルス感染症により、甚大な影響を受けた。今後は失われた観光需要を取り戻すため、官民一体となった反転攻勢に向けた取り組みや多岐に渡る支援策が必要と考える。特に仙崎地区は本市にとって重要な観光交流拠点であることから、新たな方向性を示していく必要があると考えるが、仙崎地区の観光振興の取り組みについて市長の見解を伺う。</p>	市長 部課長	13:50
11	江原健二	30分	<p>「買い物弱者」への対策について 少子高齢化や人口減少などの影響で、中心市街地以外の地域では商店やスーパーマーケットなどの小売店が撤退・廃業し、食料品や日用品など日常の買い物が不便になったという高齢者の声を聞いている。市長は、この実態をどのように認識し、「買い物弱者」への対策をどのように推進していくのか尋ねる。</p>	市長 部課長	14:40
12	上田啓二	40分	<p>「オーガニック・ビレッジ」宣言について 国が持続可能な食料システムの構築に向け「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的に各種新技術の開発・実装を推し進める中、本市は令和5年3月30日に、中国地方で初めてとなる「オーガニック・ビレッジ」宣言をオーガニック・キックオフフォーラムinながとにて行った。令和5年5月18日時点、全国で44市町村が宣言をしているが、本市においても宣言をすることに至った経緯及び今後の将来像について尋ねる。</p>	市長 部課長	15:20